



平成25年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 カワニシホールディングス

コード番号 2689 URL <http://www.kawanishi-md.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高井 平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長

(氏名) 河田 肇

TEL 086-245-1112

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第1四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第1四半期	22,376	43.5	219	302.2	209	288.4	102	646.4
24年6月期第1四半期	15,591	5.9	54	△12.7	54	△0.5	13	△63.7

(注) 包括利益 25年6月期第1四半期 107百万円 (—%) 24年6月期第1四半期 △2百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第1四半期	18.19	—
24年6月期第1四半期	2.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年6月期第1四半期	29,666	2,336	7.9	416.42
24年6月期	28,298	2,284	8.1	407.18

(参考) 自己資本 25年6月期第1四半期 2,336百万円 24年6月期 2,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年6月期	—	—	—	—	—
25年6月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,266	37.4	554	101.3	524	93.6	287	168.2	51.29
通期	88,470	18.4	1,077	40.5	1,016	35.5	559	61.6	99.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(注) 当四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 当第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、4ページ2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年6月期1Q	6,250,000 株	24年6月期	6,250,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年6月期1Q	639,155 株	24年6月期	639,155 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年6月期1Q	5,610,845 株	24年6月期1Q	5,610,874 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、3ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の連結売上高は223億76百万円（前年同期比 43.5%増）、連結経常利益は2億9百万円（前年同期比 288.4%増）、連結四半期純利益は1億2百万円（前年同期比 646.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次の通りであります。

〈医療器材事業〉

手術関連消耗品は、引き続き順調に成長を継続しております。平成24年1月に連結対象となったサンセイ医機株式会社（福島県郡山市）の業績加算が主な要因ですが、そのほかにも、商権獲得が進んだ島根、山口、愛媛、徳島、高知の売上高は、前年同期比で10%超の増収となりました。その結果、手術関連消耗品全体の売上高は前年同期比185.7%となりました。

整形外科関連商品は、平成23年6月に株式会社カワニシ広島支店が受けた行政処分の影響から回復したことに加え、関西地域（奈良、大阪）でのシェアアップが進みました。これに、サンセイ医機株式会社の業績が上積みされ、整形外科関連商品全体の売上高は前年同期比119.2%となりました。

循環器関連商品は、商権の獲得等で、愛知、山口、香川、徳島で前年同期比二桁の増収となりましたが、償還価格改定に伴う販売単価の下落に加え、全体的に症例件数が例年に比べ低調でした。そのため、サンセイ医機株式会社の業績が加わったものの、売上高は前年同期比109.0%にとどまりました。

その他、病院の新設・移転や増改築案件に係る設備・備品の販売が好調であったため、医療器材事業は、売上高196億53百万円（前年同期比 52.1%増）、営業利益2億51百万円（前年同期比 229.3%増）となりました。

〈ライフサイエンス事業〉

免疫系試薬の販売が大きく伸びましたが前年同期の大型案件販売の反動で、診断薬領域の売上高は前年同期比90.1%となりました。

基礎研究領域の売上高は、引き続き科学研究費が抑制され前年度並みとなったため、買い控えが継続していることに加え、診断薬領域と同様に前年同期の大型案件販売の反動から、前年同期比90.5%となりました。

その結果、ライフサイエンス事業は、売上高9億94百万円（前年同期比 7.3%減）、営業損失20百万円（前年同期 営業損失16百万円）となりました。

〈SPD事業〉

医療器材事業と同様に、償還価格改定に伴う販売単価の下落と症例件数が低調だったことによって、売上高の伸びが小幅に留まりました。また、粗利益率も若干前年同期を下回りました。

その結果、SPD事業は、売上高22億61百万円（前年同期比 1.7%増）、営業利益9百万円（前年同期比 31.3%減）となりました。

〈介護用品事業〉

平成23年6月期より、相次いで営業拠点を新設してきました。それによって、営業エリアの拡大に加え、迅速な対応によるサービス力の強化を図ることができました。その結果として、在宅ベッドのレンタル契約数が前年同期比121.2%と大きく増加しましたが、新規出店費用及び営業社員の拡充等の投資がまだ先行しているため、介護用品事業は、売上高2億34百万円（前年同期比 28.2%増）、営業利益8百万円（前年同期比 4.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の総資産は296億66百万円となり、前連結会計年度と比べ13億68百万円の増加となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が24億51百万円、商品が1億31百万円増加した一方で、現金及び預金が11億円減少したことによるものであります。

また、負債は273億30百万円となり、前連結会年度と比べ、13億16百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が12億42百万円、短期借入金が10億25百万円増加した一方で、未払法人税等が2億61百万円、長期借入金が5億95百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は23億36百万円となり、前連結会計年度と比べ、51百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益により1億2百万円増加した一方で、配当金により56百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、0.2ポイント減少し、7.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

おおむね計画通りに推移しており、平成24年8月10日に公表した業績予想に変更はありません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき、作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社グループは、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,752,055	4,651,319
受取手形及び売掛金	14,090,323	16,541,493
商品	3,180,076	3,311,217
その他	767,382	707,548
流動資産合計	23,789,837	25,211,579
固定資産		
有形固定資産	2,878,036	2,858,323
無形固定資産		
のれん	475,087	446,347
その他	153,119	149,041
無形固定資産合計	628,207	595,389
投資その他の資産	1,002,454	1,001,466
固定資産合計	4,508,698	4,455,179
資産合計	28,298,536	29,666,758
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,506,614	19,749,448
短期借入金	3,367,640	4,393,266
未払法人税等	348,440	87,171
賞与引当金	13,740	29,040
その他	1,017,589	913,153
流動負債合計	23,254,025	25,172,078
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	1,637,291	1,041,455
退職給付引当金	322,364	319,224
役員退職慰労引当金	638,800	641,784
その他	111,430	105,738
固定負債合計	2,759,885	2,158,203
負債合計	26,013,910	27,330,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	607,750	607,750
資本剰余金	343,750	343,750
利益剰余金	2,158,424	2,204,368
自己株式	△834,122	△834,122
株主資本合計	2,275,801	2,321,745
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,823	14,730
その他の包括利益累計額合計	8,823	14,730
純資産合計	2,284,625	2,336,476
負債純資産合計	28,298,536	29,666,758

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
売上高	15,591,595	22,376,990
売上原価	13,956,953	20,126,958
売上総利益	1,634,642	2,250,032
販売費及び一般管理費	1,580,163	2,030,918
営業利益	54,479	219,113
営業外収益		
受取利息	342	331
受取配当金	418	345
持分法による投資利益	268	9
貸倒引当金戻入額	5,343	—
その他	4,266	7,997
営業外収益合計	10,639	8,685
営業外費用		
支払利息	10,420	15,802
その他	654	2,115
営業外費用合計	11,074	17,917
経常利益	54,043	209,881
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
有形固定資産除却損	—	2,262
役員退職慰労金	—	5,000
特別損失合計	—	7,262
税金等調整前四半期純利益	54,043	202,618
法人税、住民税及び事業税	26,543	89,192
法人税等調整額	13,826	11,373
法人税等合計	40,370	100,566
少数株主損益調整前四半期純利益	13,673	102,052
四半期純利益	13,673	102,052

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,673	102,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,772	5,907
その他の包括利益合計	△15,772	5,907
四半期包括利益	△2,099	107,959
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,099	107,959
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	ライフサイ エンス事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	12,150,956	1,066,178	2,191,750	182,710	15,591,595	—	15,591,595
セグメント間の内部 売上高又は振替高	769,663	6,443	31,850	80	808,037	△808,037	—
計	12,920,620	1,072,621	2,223,600	182,790	16,399,633	△808,037	15,591,595
セグメント利益 又は損失(△)	76,340	△16,542	14,209	8,166	82,173	△27,694	54,479

(注)1 セグメント利益の調整額△27,694千円には、セグメント間取引消去3,405千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△31,100千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	ライフサイ エンス事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	18,924,328	986,777	2,231,815	234,067	22,376,990	—	22,376,990
セグメント間の内部 売上高又は振替高	729,591	7,476	29,348	205	766,621	△766,621	—
計	19,653,920	994,253	2,261,163	234,272	23,143,611	△766,621	22,376,990
セグメント利益 又は損失(△)	251,353	△20,411	9,758	8,531	249,232	△30,118	219,113

(注)1 セグメント利益の調整額△30,118千円には、セグメント間取引消去△87千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△30,031千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。